

鹿児島工業高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	中国文化
科目基礎情報				
科目番号	4068	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報工学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	日中のいぶこみ交差点 朝日出版			
担当教員	張 紹婷			
到達目標				
1.発音、ピンインをマスターする。				
2.基本文法と基本単語を理解できる。				
3.日常の会話表現を理解できる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	標準的な発音ができ、ピンインを読んで書ける。	標準的な発音ができ、ピンインを読める。	標準的な発音も、ピインインも読めない。	
評価項目2	基本的な文法事項と単語を理解して、会話に応用できる。	基本的な文法事項と単語を理解できる。	基本的な文法事項と単語を理解していない。	
評価項目3	日常に多用される会話表現を理解し、会話に応用できる。	日常に多用される会話表現を理解できる。	日常に多用される会話表現を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	第二外国語中国語のコミュニケーション能力に必要な基礎文法知識を習得する。			
授業の進め方・方法	発音、会話を中心に練習し、基本会話へと進みます。教師が範読をします。自己紹介、会話と歌の練習、発表もします。あと日常会話での決まり文句を中心に練習し、暗唱します。			
注意点	①本科目は学修単位「講義Ⅱ」科目であるため、指示内容について210分程度の自学自習（予習・復習）を欠かさないこと。 ②授業中の聞き、話す、コミュニケーションの対話などが何度も繰り返すこと。 ③学生の学習状況によって内容を調整することがある。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期 3rdQ	1週	1. 基礎発音練習 I	<input type="checkbox"/> ①ピンイン表記の原則 ②母音 ③子音+母音 ④声調（四声）	
	2週	2. 基礎発音練習 II	<input type="checkbox"/> ①有気音と無気音 ②複韻母 ③鼻音を伴った韻母	
	3週	3. 文の組み立て (名詞述語文)	<input type="checkbox"/> 名詞述語文を理解し、正しく使用することができる。	
	4週	4. 文の組み立て (指示代詞)	<input type="checkbox"/> 指示代詞を理解し、正しく使用することができる。	
	5週	"5. 文の組み立て (形容詞述語文) 6. 復習、応用問題ほか	<input type="checkbox"/> 形容詞述語文の組み立て、形容詞を理解し正しく使用することができる。 授業項目1～5について復習する。	
	6週	7. 文の組み立て (助詞)	<input type="checkbox"/> 助詞「的」を理解し、正しく使用することができる。	
	7週	8. 存在表現 I	<input type="checkbox"/> 数詞、量詞や話法を理解し、正しく使用することができる。	
	8週	9. 存在表現 II	<input type="checkbox"/> 存在動詞を理解し、正しく使用することができる。	
後期 4thQ	9週	10. 時間表現	<input type="checkbox"/> 時刻、日付、曜日の言い方や話法を理解し、正しく使用することができる。	
	10週	11. 文の組み立て I	<input type="checkbox"/> 肯定文、否定文を理解し、正しく使用することができる。	
	11週	12. 文の組み立て II	<input type="checkbox"/> 疑問文、反復疑問文、選択疑問文を理解し、正しく使用することができる。	
	12週	13. さまざまな表現	<input type="checkbox"/> さまざまな表現を正しく使用することができる。	
	13週	14. 可能表現 I	<input type="checkbox"/> 可能の「能」を理解し、正しく使用することができる。	
	14週	15. 可能表現 II 16. 総合復習、応用問題ほか	<input type="checkbox"/> 可能の「会」を理解し、正しく使用することができる。 <input type="checkbox"/> これまでに学習した重要な表現を正しく使用することができる。	
	15週	答案返却・解説	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する（非評価項目）。	
	16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル
評価割合				
	試験	発表	相互評価	態度
総合評価割合	50	30	0	10
基礎的能力	50	30	0	10
			ポートフォリオ	その他
				合計
				100
				100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0